

令和2年度 高等教育研究部活動報告

*アンダーラインは活動報告を示す。

1. 出版・広報活動

【1】 ニュースレターの編集発行

- ・ 117号：2020年5月29日 ・ 118号：2020年8月31日
- ・ 119号：2020年12月28日

【2】 高等教育ジャーナル～高等教育と生涯学習～

- ・ 第28号：2021年3月31日発行予定

2. 研究員等の活動

【研究員】

- ・ 布施泉（情報基盤センター・教授）
研究テーマ：プログラミングを題材とした個別学習と協調学習の効果的実践に関する研究
ジャーナル 28号に報告掲載予定。

3. 研究活動

【1】 教育支援

(1) FD, SD 関連（多くの場合高等教育研修センターと協力）

- ・ 令和2年度一学期全学教育科目に係るTA研修会（ビデオ視聴） 4月3日～5月8日
※ビデオ視聴による受講。修了者数128名
- ・ 令和2年度二学期全学教育科目に係るTA/TF合同研修（ビデオ視聴）
9月14日～9月18日，TA採用予定者：86名，TF採用予定者：39名

(2) 入学者選抜関連

(1) 未来型人材育成選抜試験の開発

- フロンティア人材評価の実施（総合型選抜：医学・水産）
- 次期フロンティア人材評価システムの開発（機能要件定義・画面設計・モックアップ開発）
- MMIシナリオ作成
- 追跡調査（年次アンケート調査）
- フロンティア入試Type I コンピテンシー評価（各部局との調整と評価内容確定）

(2) 入試広報

- オープンキャンパス（オンライン：2020.09.20）
- 北大進学相談会（オンライン：2020.10.04/18）
- 函館新聞社主催進学相談会（オンライン：2020.09.26）
- 札幌旭丘高校学問研究会（対面：2020.11.10）
- 札幌第一高校大学説明会（対面：2020.10.6）
- 北大説明会（河合塾 対面：2020.11.18）
- 旭川北高等学校進路講演（対面：2020.10.13）
- 日本大学附属中・高等学校進路講演会（対面：2020.10.31）

(3) 学外委員等

- 入学者選抜連絡協議会企画委員会・編集委員会
- 国立大学アドミッションセンター連絡会議（HP立ち上げ、セミナー企画など）
- 札幌南高等学校評議員

(4) 高大接続 高大連携授業聴講型公開講座

- ・ 高校訪問：藤女子高校（11月6日），市立札幌旭丘高校（10月29日），札幌西高校（10月26日），札幌南高校（11月5日），市立札幌開成中等教育学校（10月27日）
- ・ 説明会：札幌北高校（11月9日）
- ・ 講座（11月～2月）：参加校6校（北，藤女子，旭丘，西，南，開成），参加者276名（うち、レポート提出者237名），開講講座13講座（オンライン授業2授業，模擬講義動画11授業）

- ・受講生アンケート
- ・報告書の発行

(5) 高校等調査

高等学校等における教育・進路指導および大学の入試・入試広報に関する調査（調査計画の立案，準備）

(6) SSH 支援

米沢興譲館高等学校：課題研究発表会審査及び講評（対面：2020. 10. 21, 2021. 2. 11）

米沢興譲館高等学校 SSH 運営指導委員会（リモート：2021. 2. 18）

立命館慶祥高等学校：課題研究発表会審査及び講評（対面：2020. 10. 30, 2021. 2. 5）

立命館慶祥高等学校：SSH 運営指導委員会（対面：2021. 3. 16）

釧路湖陵高等学校：課題研究発表会審査及び講評（リモート：2020. 11. 4, 対面：2021. 2. 20）

佐倉高等学校：SSH 運営指導委員会（書面会議：2021. 2. 22）

(7) その他

北大先端移動科学大学講演（対面：2020. 11. 13-14 旭川）

九州産業大学高大接続ワークショップシンポジスト・パネリスト「世界の教育改革で求められる非認知的能力」（リモート 2021. 2. 27）

※高等教育ジャーナル第 28 号ならびに大学入試研究ジャーナル NO. 31 に掲載予定

(3) 大学教育と人材育成のあり方・効果に関する研究と実践

(1) 国内外におけるインターンシップの充実に向けた研究と実践

- ・全学インターンシップ（全学教育科目「インターンシップ A（国内 2020）」「インターンシップ B（国内 2020）」の実施
- ・全学インターンシップ履修説明会：オンラインで実施、5 月 17 日（日）～
- ・学生と企業等のマッチング：派遣学生 40 名（新渡戸カレッジ生を含む）
- ・インターンシッププレ研修の実施：オンラインで実施、5 月 27 日（水）、6 月 1 日（月）、7 月 25 日（土）
- ・事前研修：オンラインで実施、7 月 14 日（火）～
- ・派遣学生個人面談（1 人約 15 分）：オンラインで実施、7 月 28 日（火）～8 月 13 日（木）
- ・インターンシップ成果発表共有会：オンラインで実施、10 月 30 日（金）
- ・終了後のアンケート調査結果：将来のキャリア設計に「大いに役立つ」68%、「役立つ」が 32%、全体の満足度は「大いに満足」が 61%、「満足」が 39%

(2) 経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップの実施

- ・2016 年度より経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップを①の全学インターンシップの特別プログラムとして実施しているが、2020 年度は当初は計 11 社、11 名の学生が参加予定。
- ・5 月参加希望学生の募集（37 名の応募）
- ・新型コロナウイルスの影響により、野村證券、日本航空、JR 東日本、三井不動産、凸版印刷の 5 社 5 名（すべて学部 2 年生名）のみがオンラインでの実施。
- ・事前研修、個人面談は①と合同で実施
- ・11 月 18 日（水）に成果報告会を開催（派遣学生、企業、次年度派遣希望学生等の参加）
- ・2019 年度から「経済同友会インターンシップ推進協会」が設立され、本学も同協会の正会員として参画。2020 年度は同協会に設置された「オンライン実習教育価値向上プロジェクトチーム」に参画し、オンライン実習のあり方についての検討に貢献。

(3) キャリア教育科目（キャリアデザイン、大学と社会）の充実

①特別講義「大学と社会」の実施

- ・本学の卒業生 12 名による講義を実施
- ・2017 年度から、新渡戸カレッジと共同実施し、12 名の講師のうち 4 名の新渡戸カレッジフェロー及びメンターに講義をいただいた。

②一般教育演習「キャリアデザイン」の実施

(4) 学士及び大学院の各課程において修得すべき多様な能力の検討

- ・科学研究費補助金「第三段階教育における往還的コンピテンシー形成と学位・資格枠組みの研究」(基盤研究(A))に参画し、グローバルな経済・社会環境の中で活躍できる専門的人材の養成のためのプログラム開発やその国際的通用性を高めるための基本的枠組みの開発的研究を行った。

(4) 地域社会と連携する大学づくり

(1) 北海道大学公開講座(全学企画)の企画運営及びその将来像の調査研究

- ・新型コロナウイルスの感染拡大による、令和2年度北海道大学公開講座(全学企画)の延期・中止に伴って、オンライン化を含めた令和3年度以降の開催方法を検討した。
- ・令和3年度同講座「備える：ウィズコロナの時代をどう生きるか」(令和3年6月3日～7月29日にオンラインで計8回開催予定)を企画した。

(2) 地域住民の生涯学習を支援するための学外諸機関との連携の推進

- ・地域住民による生涯学習への支援として、北海道生涯学習審議会委員や環境省EPO北海道運営協議会委員などを務めた。
- ・札幌市や北海道環境財団、RCE北海道道央圏協議会と協働して、無作為に選ばれた札幌市民20人が温室効果ガス排出実質ゼロ実現の方策を議論する「気候市民会議さっぽろ2020」を11月8日～12月20日に4回にわたりオンラインで開催した(科研費基盤研究(B)「公正な脱炭素化に資する気候市民会議のデザイン」の一環として実施)。

【2】教育評価(総合IR室教学IR部門への支援)

- ・大学IRコンソーシアム 第3回定時社員総会(6月25日)
細川 理事就任
- ・大学IRコンソーシアム会員校向けオンライン講演会(10月15日)
(・Googleフォームを利用したWebアンケートの導入方法について ・Googleスプレッドシートでのデータ収集保管、Excelを使用した経年の調査データを蓄積する簡易データベースの設計方法 経年データをTableauを活用し視覚化するための基盤の構築について)
- ・大学IRコンソーシアム会員校向けオンライン講演会(11月26日)
(・学生調査を用いた学習行動の分析事例 ・学生調査を用いた、学生および教員へのフィードバック事例)
- ・大学IRコンソーシアム 合同シンポジウム・勉強会(2021年3月22～24日)
3月22日 細川 発表予定
- ・大学IRコンソーシアム 理事会
(オンライン出席：4/15・6/3・6/25・7/27・9/18・10/19・11/16・12/21・1/18)
- ・大学IRコンソーシアム 調査活用部会(オンライン出席：5/22・10/30)
- ・授業アンケートWEB化支援
- ・全学教育授業評価アンケートの分析、報告(ホームページで公開)
- ・ファクトブック編集への参加
- ・総合IR室ホームページ企画立案・公開
- ・ホームページ上にアンケート結果概要の一般公開を実施
- ・アセスメント・ポリシーの研究
- ・大学IRコンソーシアム会員向け令和元年度共通卒業生調査(試行)分析並びに会員向け公開
- ・大学IRコンソーシアム会員向け令和2年度共通卒業生調査(試行)企画立案実施

4. カリキュラム開発

【1】全学教育

教養科目4コマ、総合科目及び一般教育演習12コマ開講

【2】大学院教育

理学院，教育学院，保健科学院，環境科学院で開講

【3】 大学院共通授業科目

PFF セミナー，PFF 授業

※高等教育ジャーナル 28 号に「デザイン・シンキング入門-スタンフォード大学 d. school 研修報告-」を報告掲載予定。

5. 学協会等の活動支援・発表

【1】 IDE 大学協会北海道支部の活動の支援（研究集会の企画等）

【2】 アドミッションセンターの支援

【3】 北海道地区 FD・SD 推進協議会の支援（総会の企画支援）

【4】 大学教育学会での課題研究（STEM 教育）支援

【5】 学会発表

・全国大学入学者選抜研究連絡協議会第 15 回大会（中止：予稿集のみ発行）

・日本創造学会第 42 回研究大会（オンライン：2020. 10. 31-11. 01）

・情報処理学会第 83 回全国大会（オンライン：2021. 03. 18-20）

・大学教育学会第 42 回大会（オンライン：2020. 6. 6 誌上発表）

6. スーパーグローバル等への対応

【1】 高等教育研修センターの支援

【2】 IR 活動によるサポート（カレッジやスクールの評価），総合 IR 室の企画支援

【3】 TF 研修ならびに教育力養成講座(PFF)による TF 養成

【4】 国際入試導入への支援

【5】 未来型人材育成選抜機構（仮称）の支援

7. 外部資金の獲得

【1】 機能強化経費（2017-2021 年度）：入試，FD，IR に関する部門

【2】 科研費挑戦的研究（開拓）「質問力を測定する評価指標と試験環境の開発」創造的質問を評価する QQ テストの開発と試行（膳所高校・天王寺高校・神戸高校・高槻高校）

【3】 科研費基盤研究（C）「国際的・横断的資格認証枠組みに基づく大学入学者選抜に関する国際比較研究」研究会、外国調査（オンラインインタビュー調査）